

# 磐田市静岡モデル 海岸堤防整備計画の概要

令和4年3月29日 磐田市防災会議

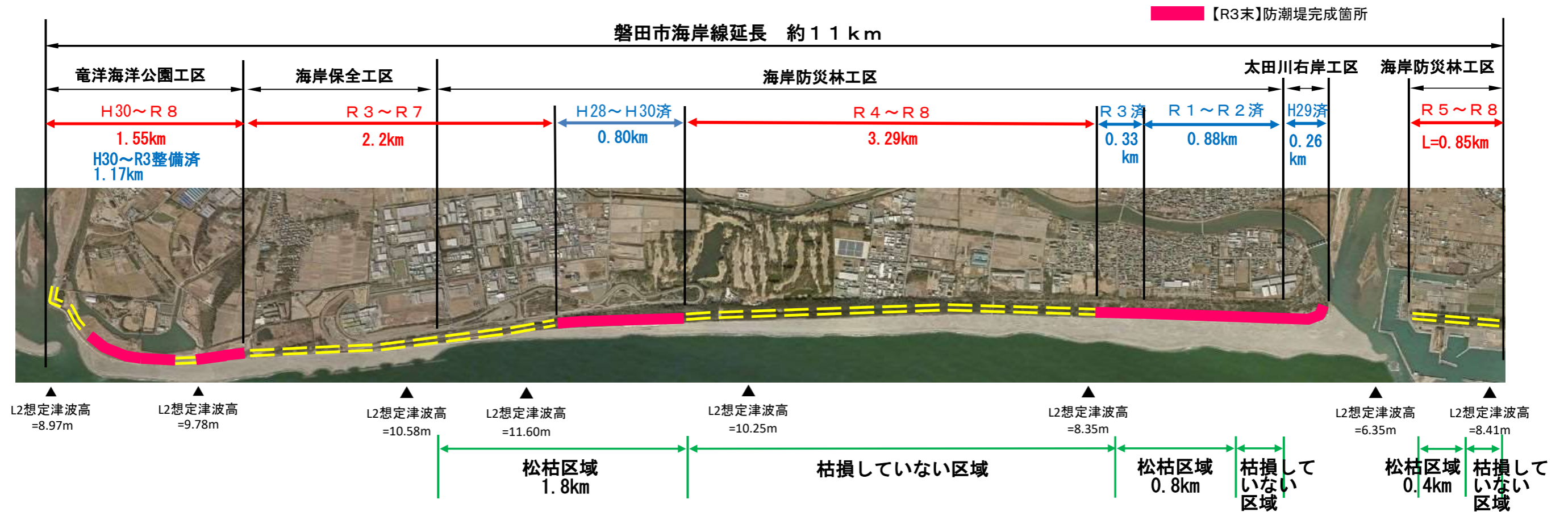
磐田市の海岸沿いは、太平洋に面していることから「津波の到達時間が短い」という特性があります。また「沿岸部に多くの人口・資産を抱えている」という特徴を持っています。磐田市では、安心して暮らし続けることができるまちづくりを進めるため、静岡県第4次地震被害想定レベル2※1に対応した「静岡モデル」※2の防潮堤を、1日でも早い完成を目指し静岡県と連携して整備しています。

※1 千年に一度発生するといわれる最大クラスの津波  
 ※2 既存の防災林、砂丘、道路のかさ上げ等により安全性を向上させる防潮堤の整備方法

- ★ 整備期間 平成26年度～令和8年度【予定】 ※整備終了年は「市施工分」です。海岸防災林工区の「県施工分」完成予定は、令和8年度以降です。
- ★ 必要土量 約315万m<sup>3</sup> (必要土量は既に確保済みです。公共・民間事業からの発生土を活用しています。)
- ★ 堤防高 海拔14m (市内の最大津波高12m+せり上がり2mを考慮した高さです。)
- ★ 事業費 約137億円(見込み) ※県施工分を除く

令和3年度末【海拔14m】完成延長 L=3,453m、進捗率 33.8%  
 【海拔12m】完成延長 L=3,641m、進捗率 35.7%

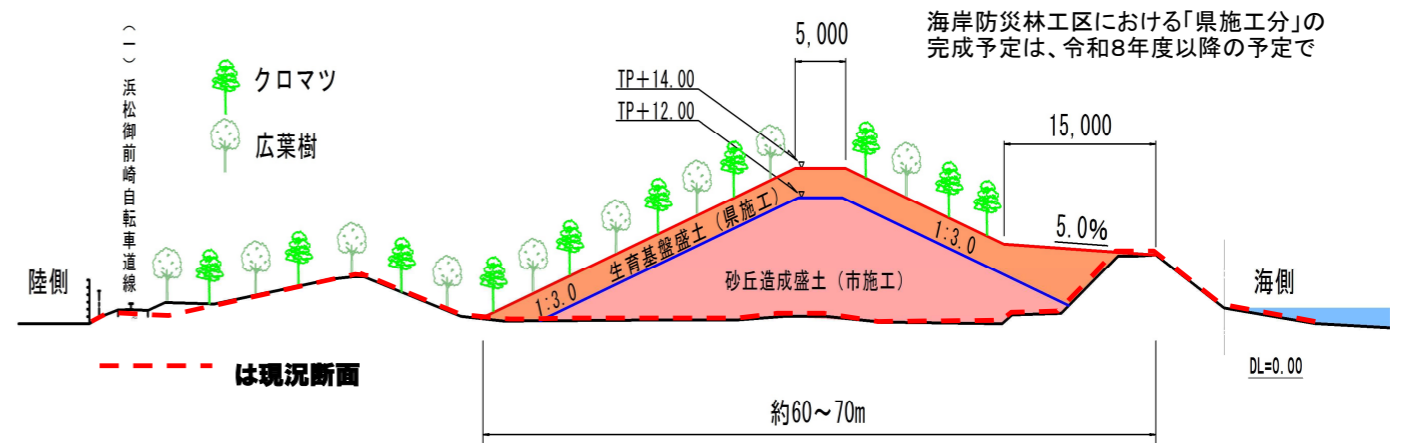
## 事業実施区域図



## 現場の状況 (R4.3現在)



## 標準断面図 (海岸防災林工区)



# 磐田市静岡モデル 海岸防潮堤整備事業の概要（令和4年度事業計画）

令和4年3月29日 磐田市防災会議

磐田市の海岸沿いは、太平洋に面していることから「津波の到達時間が短い」という特性があります。また「沿岸部に多くの人口・資産を抱えている」という特徴を持っています。磐田市では、安心して暮らし続けることができるまちづくりを進めるため、静岡県第4次地震被害想定レベル2※1に対応した「静岡モデル」※2の防潮堤を、1日も早い完成を目指し静岡県と連携して整備しています。

※1 千年に一度発生するといわれる最大クラスの津波

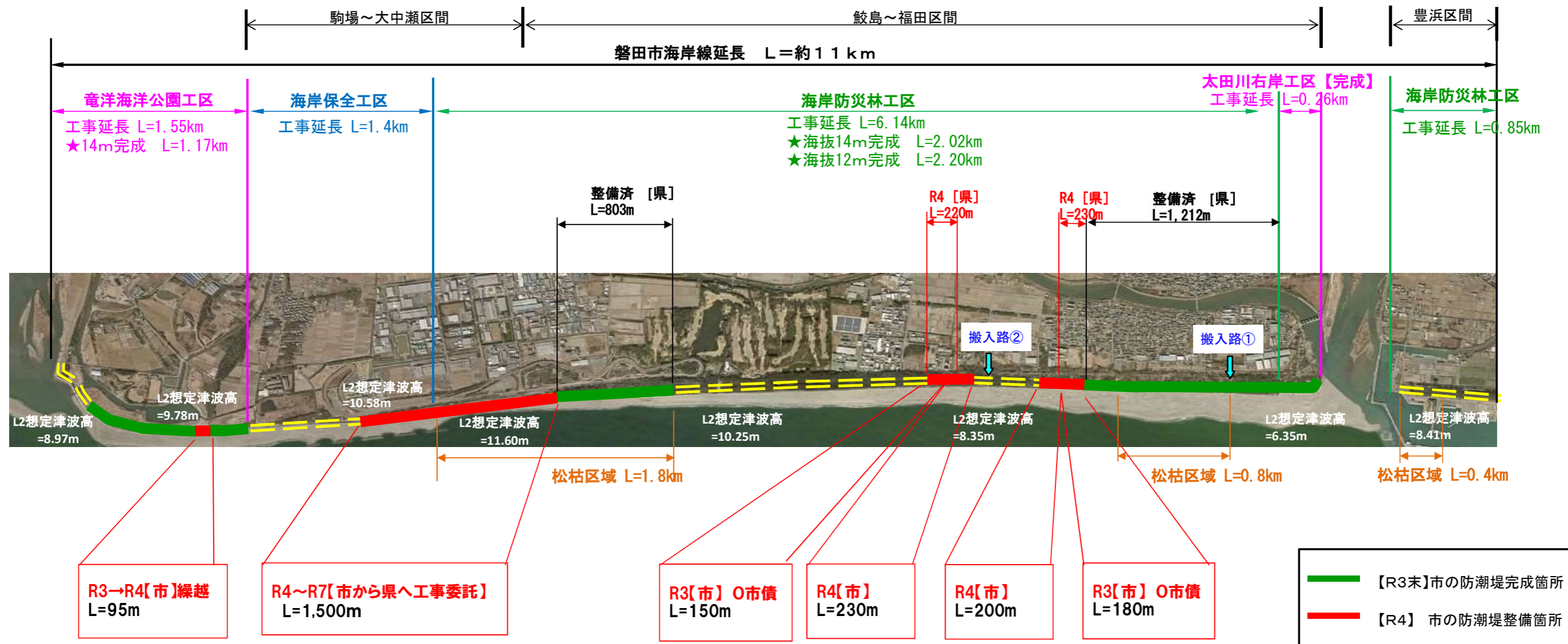
※2 既存の防災林、砂丘、道路のかさ上げ等により安全性を向上させる防潮堤の整備方法

- ★ 整備期間 平成26年度～令和8年度【予定】 ※整備終了年は「市施工分」を表記しています。海岸防災林工区における「県施工分」の完成予定は、令和8年度以降の予定です。
- ★ 必要土量 約315万m<sup>3</sup>（必要土量は既に確保済みです。公共・民間事業からの発生土を活用しています。）
- ★ 堤防高 海拔14m（市内の最大津波高12m+せり上がり2mを考慮した高さです。）
- ★ 事業費 約137億円（見込み）※県負担分を除く

令和3年度末【海拔14m】完成延長	L=3,453m、進捗率 33.8%
〃 【海拔12m】完成延長	L=3,641m、進捗率 35.7%
令和4年度末【海拔14m】完成延長	L=3,998m、進捗率 39.2%（見込み）
〃 【海拔12m】完成延長	L=4,496m、進捗率 44.1%（見込み）

## 事業実施区域図（完成箇所・R4施工箇所）

## 予算ベース



海岸防潮堤の現場状況  
令和4年3月末

